

### 高瀬みどりの少年団【第2講】

🍓 さつまいも苗植え、今年も元気にスタート！ 🍓

# 広報 たかせ

第242号

令和7年7月1日

日田市高瀬公民館

館長 高田 義友

主事 荒倉 寿也

電話：24-2705

FAX：24-4075



数日前、暑い中 JA 女性部の皆さんが畝づくりを行い、丁寧にマルチを掛けて準備してくださいました。本当に感謝しかありません。



新しい仲間とともに、ワクワクしながら財津さんの畑へ向かいます。



教えてもらったみたいに、竹を刺してうまく植えられるかな？ちょっとドキドキ！

### さつまいもの苗植え、がんばりました！

誠和神社近くの畑で、JA 女性部南部支部の皆さんのご協力のもと、今年もさつまいもの苗植えを行いました。

今年は、昨年の舟形植えをやめて、新たに「竹をやや斜めに差し込んで穴を作り、そこに苗を植える」という方法に挑戦！初めての植え方に少し戸惑いながらも、みんなでワイワイ作業開始です。

この畑は、誠和町の財津さんがご厚意で貸していただき、事前の耕うんもバッチリ。うね作りやマルチ掛けなどの準備は、JA 女性部の皆さんがテキパキと仕上げてくださいました。

本当にありがとうございます！

作業の最後には、防護柵の設置と、猪などの害獣を遠ざけるソーラーライトも取り付け、準備万端。秋には、土の中からどんなおいもが顔を出してくれるのか、今からとても楽しみです。みんなで育てて、みんなで味わう、実りの秋が楽しみです♪



苗の保護の為藁を敷いて完了です。



トマトの苗も植えまし  
た、沢山なるこいなぁ



すくすく、育つて  
います。(6月26日  
撮影)

## 高瀬女性セミナー

女性セミナー第1講が開催され、今年度のスタートは「資生堂久留米工場」への見学でした。この工場では主に日焼け止めや化粧水、ローションが製造されており、約500人の従業員が3交代で稼働しているとのことでした。

見学ではまず、資生堂の歴史を学び、その後、製品ができるまでの製造工程を見て回りました。特に紫外線が肌に与える影響や、その対策についての説明は、これからの季節に役立つ内容ばかりでした。さらに、予定にはなかったワークショップにも特別に参加させていただき、紫外線を受けると色が変わる特殊なビーズを使ったプレスレット作りも体験。楽しく学びの多い一日となりました。



このあと御一行は、あわしま堂アウトレットに立ち寄り、お土産にお饅頭をどっさり買って帰りました(´▽`)



パラパラ漫画で瓶詰め工程がわかりやすく見られました。



ビーズを使ったプレスレット作り挑戦中

### 交通安全協会 高瀬支部

交通安全協会高瀬分会の総会が開催され、令和6年度の事業報告と令和7年度の計画について審議されました。役員改選では、長年分会を支えてこられた佐藤会長が退任し、城全新会長が就任。総会では感謝と労いの言葉が贈られ、温かな拍手が送られました。

第79回日田市民体育大会ソフトボール男子の部で、高瀬チームが見事優勝を果たしました。4回戦を勝ち抜いての栄冠は、まさに快挙。選手一人ひとりの熱意と団結の賜物です。優勝トロフィーを手にした瞬間、チームには大きな歓喜が広がりました。

選手の皆さん、本当におめでとうございませう！試合後の打ち上げも、さぞ盛り上がったことでしょう。

### 高瀬スポーツ協会臨時速報

【高瀬の歴史コラム】第6回「ここ、高瀬に生まれて」

令和4年8月から、高瀬史編修委員会が開催され、私も委員の一員として参加させていただいています。

高瀬には、約1万5千年前の旧石器時代の上野第1遺跡(上野浄水場付近)をはじめ、約1万年前から3千年前までの約7千年間続いた縄文時代の誠和町神社裏遺跡や大宮町の手崎遺跡、深野田遺跡などがあります。そのあとの弥生時代、古墳時代等々多くの遺跡や遺物が発見され、連綿と続く高瀬の人々の営みが紡いだ歴史があります。

しかし、このような遺跡や遺物の貴重な報告書や資料は散在しており、高瀬の皆さんが目にする機会も少ない状況でした。その貴重なデータを集めてまとめ、一連の高瀬史をつくってみようとの話から立ち上げております。今回は、月一回の委員会に参加して感じたことをお話しします。

私が生まれて70数年になります。十代のころは、約890年前に建立された高瀬天満宮や江戸時代の浮世絵に描かれた高瀬川の釜淵やわに淵などで遊びに明け暮れていました。今となっては遠い昔の思い出となっています。

そのような中で、現在編修委員会で進めている高瀬の遺跡を考えると、私が生を受けてから現在までに比べると、ここ高瀬に人が住みはじめて1万5千年以上前からとてつもない年数であり、現在まで引き継がれていることが不思議でもあります。

また、私が高瀬の歴史に興味をもった1つに高瀬天満宮付近にあった高瀬城の存在があります。いつ頃、誰がなど調べるうちにどうしてここに城ができたのか疑問がわきました。

実は、私は高瀬本町公民館の近くで畑を作っており、高瀬川から20メートル以上標高が高いにもかかわらず河原にあるような丸い石が出てきます。

これは、人が住みつく遙か前の約7万年前の阿蘇の大噴火までさかのぼってみると次のような仮説ができます。この大噴火による大火砕流で日田は覆いつされ、ほぼ平坦な土地になったと考えられます。それが数万年かけて雨風で浸食され、高瀬川や三隈川の原型ができて、上流から土砂が流れてきて丸い石や土が堆積した。さらに川は水で削られて川底が深くなり、結果的にははじめ河原だった土地は、切り立った崖の上になったと思われます。

そして、高瀬氏の先祖が東側(高瀬川側)と北側(三隈川側)の崖を要害(城郭)として利用できることを発見し、高瀬城にしたのではないかと考えられます。ちなみに南側と西側には、天満宮を囲むようにお堀の石垣代わりの土塁が残っています。

高瀬の遺跡は多くが道路建設や建築物等の工事前の試掘で発見されたものです。まだまだ沢山の遺跡や遺物がねむっています。そう考えるとそれぞれの時代での生活の様子がよみがえるロマンを感じます。

原始から現在まで脈絡と続く人々の営みが私たちの住む「今」につながっています。

月一回の開催で、現在、「古墳時代」に取り組んでいます。そして年内には「奈良時代」へと進む予定です。興味のある時代だけでもOKです。気軽に参加してみませんか。 (文 高瀬史編修委員会 高瀬和則)

高瀬城土塁跡



三隈川側



高瀬川側

